

報道関係各位

銚子信用金庫

2021年度決算概要の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町5番地の5、理事長：森山博志）は、2021年度決算（2021年4月1日～2022年3月31日）の概要を下記のとおり公表いたします。

記

1. 預金積金・貸出金の状況

預金積金は、積極的な資金繰りのご支援、安定した年金・給与振込などにより、前期比99億円増加し、5,324億円となりました。

貸出金は、事業者のお客さまには資金繰りのご支援や課題解決に着目したご提案を行い、個人のお客さまには住宅ローンや各種個人向けローンについて特別金利でのご提供を行ったことなどにより、前期比8億円増加の1,477億円となりました。

	2021年3月末	2022年3月末	増減
預金積金	522,517 百万円	532,418 百万円	+9,901 百万円
貸出金	146,937 百万円	147,799 百万円	+861 百万円

2. 損益の状況

貸出金利息や有価証券利息配当金などの資金運用収益が減少したものの、経費の減少や株式等売却益の計上などにより、当期純利益は前期比1,329百万円増加の2,009百万円となりました。

	2021年3月末	2022年3月末	増減
経常利益	821 百万円	1,870 百万円	+1,049 百万円
当期純利益	680 百万円	2,009 百万円	+1,329 百万円

3. 自己資本

利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い、自己資本の充実を図っています。その結果、自己資本比率は前期比0.39ポイント上昇の11.14%となりました。

	2021年3月末	2022年3月末	増減
自己資本額	20,269 百万円	22,116 百万円	+1,847 百万円
自己資本比率	10.75%	11.14%	+0.39 %

4. 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでいます。不良債権額は前期比1,326百万円増加の8,331百万円となり、不良債権比率は前期比0.86ポイント上昇の5.61%となりました。

	2021年3月末	2022年3月末	増減
不良債権残高	7,005 百万円	8,331 百万円	+1,326 百万円
不良債権比率	4.75%	5.61%	+0.86 %

以上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：高木）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5番地の5

TEL：0479-25-2115 FAX：0479-22-9909 e-mail：keiki@choshi-shinkin.co.jp